

コミュニティ放送局 エフエムなとり
第20回 放送番組審議委員会
議事録

令和元年 12 月 4 日(水)

開催日時 令和元年 12 月 4 日(水) 18:00～

開催場所 名取市増田字柳田385-3 エフエムなとり スタジオ

委員の出席 委員総数 6名

出席委員 5名

出席委員の氏名(順不同)

庄 司 則 雄 様

大久保 主 計 様

太 田 力 様

五十嵐 竹 美 様

伊 藤 恵 子 様

欠席委員の氏名(順不同)

渡 邊 拓 哉 様

放送事業者側出席者氏名 理事長 相 澤 美 恵
局長 山 田 光 洋
職員 伊 東 誕 行

1. 開会

定刻通り 18:00 に理事長相澤の司会により開会。

2. 理事長挨拶

前回の審議委員会の折、次回開催は10月頃にとお話ししておりましたが、先ほど生放送を終えたパーソナリティが帰られた所という事で、今日はそのディレクターも同席しますと職員伊東が紹介された。事前にGDにて今回審議する番組「タやけな・とり！」の番組音源を郵送して委員の方々には視聴して頂いているものとして、本日ご意見を聞かせて頂ければと理事長相澤が挨拶された。

3. 議長選出

太田力氏が議長に選任された。

4. 議事

◇第1号議題

議事録署名人の選出

庄司則雄氏 五十嵐竹美氏が選出された。

◇第2号議題

番組審議「タやけ な・とり！」 ※10月から始まった新番組。

- ・放送日時:毎週月曜～木曜の 17:01～17:44(生放送)
- ・名取に縁のある市民パーソナリティが名取市民にお送りする情報音楽番組。

【試聴素材1】11月4日(月)17:01～17:44 放送分の内の約 15分

- ・市民パーソナリティ:安西エマ
- ・Guest:サディさん(Rose'n Ciel バンド仲間)、シャアさん(同)
- ・内容:OP～天気予報～ゲストトーク

【試聴素材2】11月5日(火)17:01～17:44 放送分の内の約 15分

- ・市民パーソナリティ:大友康司郎
- ・Guest:小林竜さん(サザン仲間のミュージシャン)
- ・内容:生唄のコーナー&ゲストトーク～ED

【試聴素材3】11月6日(水)17:01～17:44 放送分の内の約 15分

- ・市民パーソナリティ:マーサ
- ・Guest:荒砥さん(中学生ファッションモデル)、
荒砥さんのお母様とその友人女性2名(応援)
- ・内容:ゲストトーク

【試聴素材4】11月7日(木)17:01～17:44 放送分の内の約 15分

- ・市民パーソナリティ:由岳
- ・Guest:無し
- ・内容:などいろ板～由岳のマストアイテムのコーナー

議長: 皆さんから、聴いた感想を順番にお願いします。

委員1: ・生のラジオ(onTime)では聴けたことがない

・月曜日はロック関係の人達が喋っていて、「こういう事(ジャンルの番組)もやってるんだなあ」と(新鮮に)感じた。

・名取の情報を伝えてましたが、もう少しきちっとした情報(確度)の伝え方が良いと感じた。正しい情報、(リスナーが)聞いて「あ、なるほどな」となる様なカンペをパーソナリティに渡すのか、パーソナリティがきちっと自分で調べて話をするスタイルなのか分からないが、自信無いような有るような感じに聴こえました。

議長: ちょっと(試聴素材が)短かった様な気がする。

理事長: (本来、全曜日共)約45分の番組なんですけども、今回は(各曜日の)カラーを知って頂いた方が良く考えて15分ずつ(切り出して)お渡ししました。

委員1: 女性群の(水曜日の)ゲストトークは賑やかな感じがして、雰囲気がいいなという感じは受けました。以上です。

委員2: ・なとらじの(番組の)中では凄い新鮮味があった。

・若い方がトークがうまいと感じた。どちらかという若者向けという感じはするんでしょうけども、そういうのもあっても良いのかなと。

・それ(こういう内容の番組がある事)を情報として外に出せばもっと聞いてくれるのかなと思う。非常に私は入り易かったなと思いました。

・増中の2年生の方がゲストに出てたマーサさんの回(水曜日)は、今まで(月曜・火曜の)試聴素材には)名取らしさが無かったので、ここで名取の方がゲストで、(名取の)話題が聴けて、(ここに)名取らしさもあって良かった。

・かわまちテラス開上やなどセンのイベント情報の発信もあって、非常によろしいかなと思いました。

委員3: ・市民参加型ということで、曜日毎にバラエティに富んでいてすごく良い。番組の内容云々よりはこういう市民がもっと出て欲しいというか、そういう番組を目指していたのかなと。

本当に市民参加という意味ではこれ(番組)を起爆剤にしてもっと広げていって頂ければ。

・番組の内容はこれから回を重ねる度に整理されていくと思いますので、まずは外側だけですけど、良いと思います。

・「市民参加型(番組)」、やっとここまで来たかみたいな所ですごく面白く聴けると思います。

委員4: ・名取の情報(番組)となっていたから名取に関する事がメインなのかなと思っていたら、そうかこういう風な形で月~木と、色んな人達が関わってやってるんだなあと感じた。

・最初聴いた時はなとらじを聴いてるんじゃなくて別なラジオ(局)を聴いているのかなと思いき、新しい感じだなと受け止めて、こういうのもアリかなとは思いました。

議長: (委員の)皆さんからそれぞれ頂きましたけれども、大体同じような感じで受け取られたのかなと思います。

・市民参加型という事でそれはそれで良いんですけど、名取の催し物の事はもう少し情報(量)が入った方が(良いかなと思います)。

短くても良いから「こういうのもあるよ」とパツパツパツとテンポよく出されたら良いのかなと。

・あと中学校2年生のゲストの回(水曜日)。我が家にも同じ中学2年生の孫が増中にいるんですが、私も情報を知りたいと思ったから(孫に)聞いたら情報は得られなかった。(ゲストを)紹介される時にもう少しパーソナリティの方からちょっと(補足情報を)付け加えて頂ければ良いと思う。

・全般的には良かったのではないかなと。私はロックが好きなのでぜひ(たくさん)掛けて頂ければ(嬉しい)。

理事長:この「タやけ な・とり!」という市民参加型の番組をやるにあたって、ラジオ局を立ち上げた時からずっと、市民に参加して貰ってなとらじはやっていかなくちやいけないというモットーで続けてきたので、ぜひここで、市民で参加してくれる人がパーソナリティでというのがずっと頭の中にあって、想いがある、なんとか秋からやろうという事で集まったくれたのがこの4名でした。

市民にやってもらう事によって、なとらじの幅の広がりであったりこれまでと違ったものももっと広がっていくんじゃないかなと考えている。

一番最初になとらじが出来た時の「みんなで作るラジオ局」という原点に帰って欲しいなという想いもあったので、こういった市民の方が参加する事によって、ここだけの帯じゃなくて例えば主婦層の人が出てくるとか、子育て世代のお母さんたちが出てくる一週間の帯ができたりという風に更に発展していったら面白いんじゃないかなと考えている。

夕方に持ってきたというのは、いつも「仕事帰りに車でラジオを聴けたらいいのにね」という声をずっと聞いていたので、とりあえず夕方の5時~6時の間、ここに持ってきてやってみたらいいんじゃないのかなという事で。

あと一番最初衝撃的に感じたのは、どうしてもパーソナリティをやっていると淡々とキレイに躓かないで聴きやすい様に喋るのがパーソナリティ(だと考える)。ただ4名それぞれの第1回目を聴いた時に、やっぱり躓いたり口が止まったり喋りの速度がすごくゆったりだったり色々あったのですが、逆にそのゆったりしているとかまったりしている感覚が「こういう喋りもありなんだな」と逆に新鮮だったりして、これこそ市民パーソナリティだからこそできるんだよなという感覚はあった。

もっと情報掘り下げてとかあるかと思うんですけど4名の方はそれぞれお仕事をもちながらこの時間帯に、自分のお休みの日とか早く帰れる日に準備をして生放送をして貰ってるという形で、これがどんどん広まっていけばもう少し時間帯も違う所でこういった市民の方がどんどん参加してくれることによってなとらじのカラーはこれだよというのが言える様になっていったらいいのかなと思っています。

多くの市民の方が関わってくれたらいいのかなという想いで企画した放送(番組)でした。

以上が私からですが、ディレクターからも何かありますか？

職員:今回CDの形でお渡ししたものの(視聴音源)は各曜日の一部を切り抜いた状態だったので全体像が見えづかったことは私としても残念だなと、ちょっと勿体ないなどは思ったので、ぜひ本放送を時間を見つけて聴いてみて頂けたらなと思ったりはします。

相澤理事長がおっしゃった通り、今までラジオをやったことがないという人達が始めているのでやはりスタートラインはだいぶ後ろの方からだとは思いますが。回を重ねる毎に少しずつ慣れてはきていて、目標としては各パーソナリティさんに機械も操作して頂いてお一人で

スタジオで生放送ができるという所まで引き上げていきたいと思っておりますし、そういう方針も出ていますし。

あと内容面に関しても、もうすぐ3か月が経ちますけどやっと慣れてきつつあるので、ここから内容の方も少しずつテコ入れできたらいいなと考えているので、当面の放送期間としては来年の3月末までなので残り3か月とちょっと。そこまでに脱皮させたいなと思っていますので引き続き注目して頂けたらと思います。

理事長: ラジオの市民パーソナリティをやってみたいという方は実はたくさんいたが(放送)時間帯が合わなかったり仕事との兼ね合いがあつて難しいという結論が多い。

職員: 実際パーソナリティを担うとなると、毎回Qシートに何分からどういう話題を話すか等、パーソナリティ全員に自身で考えて頂いていて、そういう準備の時間も考えると放送時間だけ体を空ければ担えるという訳ではなくて、少し負担は大きいと思われれます。

委員1: ほぼ週1はきついよね。

理事長: そうなんです。(穴を)空ける訳にはいかないというのがあるからちょっとやりたいけど週1毎週となると無理ですという方が多くて、実際やれる人を集めるのは結構きつい。

委員1: やはり2~3人くらいのローテンションで。(例えば)月曜日に3人(担当パーソナリティを)割り当てて、とか。私も大学にいた時にFMたいはくさんで最初は毎週だなんて言ってたんですけど、もうこなせなくて、こなせなくて。

理事長: あとシニアの方にも喋りたいという方は結構多いんですよ。

委員1: 喋りたい方はいっぱいいるんだけどもQシートを作ってあげないとちゃめちゃになっちゃうので、一人では絶対無理なので、質問する人・答える人という様な形で育てていって、その後1人立ちの格好に(持っていければ良い)。

理事長: 局側の受け皿がしっかりしてないと中々できないですよ。この前もシニアの方で自分が直面している介護の問題とか、その手続きがすごくめんどくさくて皆はどう思ってるの?という話題をラジオで喋りたいという方がいらいて、そういうのもありだよなとは思ってたんですけど、でも30分その問題提起を喋ってくださいと言ったらいきなりは無理なことなので、今回はゲストのコーナーでご紹介するのでちょっと喋ってみてくださいという形に置き換えたんですけど。

委員1: 上手にコントロールできて、じゃあ次回はがんセンターの相談室の〇〇さんに来て貰って答えて貰いましょうとか、あと例えばホームの人に来てもらってとか、市役所の介護長寿課の人に来てもらってこの所ちょっとやってみますか?という事ができれば。

理事長: そういう場にするのも面白いんでしょうけどね。

委員1: 私が講座をやっていた時にはものすごい反響というか、こちらが逃げ出したいくらい「こういう事を勉強したい・あーゆう事を勉強したい」という声があった。

理事長: 多分そういう事を思ってる方がいっぱいいると思うですよ、例えば孫の扱い方が昔と今で違うとか、育児(への考え方)も違うとか。問題提起すれば幾らでも出てくると思うから、そういう番組があっても面白いなと個人的には思っている。

委員4: 色々題材になりそうな問題提起はあると思うが、根本的にラジオで流す事をよく考えてみると、それ(トーク)を回す人が必要だと思う。ラジオ番組だから聴く人の事を考えると、言いたい人は言いたいかも知れないけれども、(何気なしに)聴いてる側にすれば上手に回してくれる人がいなければ聞きづらいものになると思う。

言いたい人聴きたい人いっぱいいると思うんですけど、上手くしないと聞いている人が「なんだか、ただの愚痴みたいな聞いてたってさっぱり面白くないな」となるよりは、上手に回す人が慣れるまでいたりして、パーソナリティも上手く回せる人がそういった方達を、市民を巻き込んでいくみたいになって来ないと、聴きづらくなるし、回らなくなる。

委員1:名取市の(お知らせ)、例えば介護長寿課のこれこれこうですよとか、保健所のこういう検診のアレが全市を回ってますよとか、堅い感じで情報流されてますよね。そうではなくて—

委員4:じゃなくてね、そうそうそうそう

委員1:市民向けで、「そろそろゆりが丘とか那智が丘の人たち、胃袋検診あるよ—」とかね。それで「詳しいことは保健センターさ聞いてみて下さい。保健センターの電話番号はこうだよ—」って。そんなに集中はしないと思うですよ、全国放送と違うから。

委員4:お茶の間 Q&A みたいな、お茶の間でなんかあったこととかね。あと、日頃ちょっと聞いてみたい事みたいな暮らしのヒントみたいなのを、「私絶対これおかしいと思うんだよね。皆さんどう思いますかね?」といった内容をポンッとテーマを投げかけて貰って、それに対してなんとらじに FAX くださいとか、こないだこれに対してご意見くださいって言ったのに対してなんとかさんから連絡きてますけどもとか、言った事に対して、市民の人もこういう風に思ってるかもしれない、とか。いやいやそうじゃないかもしれないっていうのも、聞くのもいい感じなのかなと。

委員3:やっぱり振る人だよ。それがいないから、大変だっていう。そういうスタッフをなんとらじで準備するのが大変なんですよ。だから、民間の人を育てるっていう試みは分かるんだけどもね。(要求)内容からするとね。

委員4:小っちゃい事でもいいんですよ。「ここに注意の紙が貼ってあるのに犬の糞が放置されていて、何か解決法無いですかね?」って言って、ふと聞いている人がこういうの(対策)があったとかあーゆうのがあったとか。

市役所さんもどうしても赫赫云々の、専門用語を使うとさっぱり分かんないんですよ。なんて言ったんだろ今、ってね。

委員4:だから今のを簡単に言うてどういう事なの?ってよく(思う)ね。

委員1:良い情報なんだけど伝わりづらいという。

委員3:役所言葉だから。広報なとりをそのまま読むと本当にいつい。聴いてる方も。そこはなんとかしてほしいなっていうも思っていました。

委員4:あと、例えば問題提起されたその事にポンッとアドバイスをする FAX が何件かでも来たらそれに対して次々って(トークが)膨らんでいく感じがするんですね。お茶の間の困りごと相談みたいな。専門的な話題じゃなくてもそういったので、「あ、それ知ってる!そのやり方」とか、例えば梅の漬け方。「そのやり方じゃなくてもっといいやり方私知ってる」とかで、ちょっとした情報をポンと投げると他からも来るみたいな。そうすると私も出してみるかなとか、こんな事言ったら塩梅悪いかとか、こんな事でも言えるの?とか。敷居を低くしてというか。

委員3:梅干、語れますよ!

委員2:この「メッセージやリクエスト受け付けてます」とは、10月から始まった番組で実際そのメッセージやリクエストの実績というのはどういう風な?これは生でのメッセージやリクエストじゃなくて?生放送の番組でもその場でメッセージやリクエストは受付可能なんですか?

職員:受け付けてます。

委員2:ボール投げてすぐ返ってくるような。そういうお話があったので。

職員:すぐチェックできるメールであっても、受信する過程で少しずつタイムラグは生じるので、あつ体制的な面や仕組み的な面でまだスタジオの中ですぐ気付ける時と気付けない時とがあつたりするので、今リアルタイムなキャッチボールという所をウリにしてしまうと応えきれない部分があるのが現状。気付けたものに関しては早めに、その日の放送に間に合うならその日の放送中に取り上げるし、間に合わなければ来週にでもという形で応える様になっています。

委員4:あと、私(の歳)以降になるとメールアドレスとかQRコードとかをどうしたらいいんだろうと思うから、FAXだったら書けるから書いてならじのFAXに入れるとなると、「先日の〇〇なんだけれどもこういった事もありますね」と、ちょっと(レスポンスが)遅れてもいいので市民からの声を反映するみたいなの。

時代に乗り遅れてるかも知れないけれど、時代があまりにも機械が便利になってしまうとそれに(対応)できない人はただ聴くだけで参加型にならないから、ちょっと遅れてもいいのでこないだの〜という形で取り上げて、聞いてた人が読まれた!みたいな事だと今度また聞いてみようかなとか、〇〇さんのくらいの情報で良いのだったら今度私も参加して書いてみるかなくらいの。

ここまで伺っていて、ボランティアでやってるんだ凄いなとは思ったが、ただ、聴いてる人には分からないので、魅力というか、地域の情報発信であれば地域の方も混ぜて貰ってみたいなの感じも無いと。

確かに多分いっぱい喋りたい人はいるんだけど、43分間その喋りだと聞いてる方は疲れる。だからちょっと笑い=面白いのも入れつつ、ダーツと(一方的に)喋るんじゃなくて、聞いたり喋ったりキャッチボールができるような感じだと聞きやすいというか。

理事長:名取以外の方がいっぱい手を挙げるんですね。今回は名取市民に限定してという事であちこちに声かけたんだけど「名取(在住)じゃないとダメなの?」みたいな声も何人かあった。名取の人は恥ずかしがりっていうのもあったりして、でもなんとか市民参加型のをやりたいたいと思ったのでなんとか間に合ってたんですけどね。

委員1:この人達を続ける為にも裏番組というか控えといたらおかしいけど、そのの所も今の内に育てておかないと。ほぼほぼ音楽中心なので、実生活みたいな、趣味とか、音楽以外の、生活を楽しむみたいな。

委員3:いいですよ、そういう話もね。毎日音楽ではね。

委員1:大変だと思うよ。私も経験してるけどね

理事長:交互とかね。週交互とか。

委員3:Qシートもある程度パターン化してるんでしょ?そうでもないの?

職員:目安の時間配分は4曜日に統一感を出すためにある程度決まっています。ただその中身に関しては、天気・交通の所は同じですけど、後半の所はそれぞれのパーソナリティさんに自分の特色を出して良いですよと伝えてあるので、その内容は本当にパーソナリティさんにお任せです。

委員3:ポリュームだけきちっと決めてあって、お任せは中身は自由ですよっていう事ですね。

職員:その中で、火曜日の大友さんはサザントリビュートのバンドをやっているの、サザンが大好きなのでその気持ちを名取の人達に伝えたいという事に特化していて、水曜日のマーサさんであれば色々な市民活動をしているのでその経験談であるとかそこから社会が良くな

っていく事を伝えたいとか、木曜日の由岳さんは古いロックとかが好きなのでそういった音楽を今の人達にも聴いて貰おうという事でやってまして、それぞれ今はパーソナリティさんの色にお任せという形になっているので番組後半は全て考えて貰っています。

委員3:ボリュームがある程度パターン化しているのであれば、やりたい人はそこにハマていけばいいような感じなので助かりますよね。

職員:あと、ネタ切れとかの対策としては例えば一つの団体・グループに1曜日を割り当てるとかすれば、そのグループの中で都合のつく人達が、第1週目はこの人達が集まりました、2週目はこの人達が〜という感じで回るのかなとも。今回は急遽、ぎりぎりになって集まってくださった方々なのでジャンルの的には被ったりもしてますけど。

委員3:でも暫くこれで続くんでは？

理事長:3月まで。

委員1:毎週はほんとキツイよね。

委員2:この番組は結局、もうちょっと長くするんですよね？タヤけなとりっていうのは、3月いっぱいまで終わりという事は？

委員3:苦しくなってくるとゲストを呼んでくるんだよやっぱり、自分でね。

職員:ゲストを呼べばそれで1つ、立派な話題になりますから。

理事長:マーサさんは殆どゲストですよ？色んなゲスト呼んでますよね。

職員:そうですね、毎週ゲストさんをお呼びくださってますね。

委員1:一人で喋りきるっていうのはきついですよ。読む以外ないもんね。ウチは朗読で逃げましたけど。

局長:ちょっと偏りについて。私月曜日の担当をやってるんですけども、ほぼ(パーソナリティに)お任せです正直な所で、毎週同じ曲、同じ話題、同じ人で、内輪ネタの番組なんですよ。いわゆる夜中の1時とか0時に東京でやってる様な番組になりつつある。それで恐らくなんですけどエフエムなどのリスナー層で、この放送時間帯で、これ(内容)いいのかな？っていうのがある。身内話は恐らく身内は聞いて楽しさが増すんですけど、逆に身内以外の人に関しては一切、それこそ委員4さんがおっしゃった様に聴く局を変えちゃったりもう2度と聞かないみたいになる危険性があるんです。やはりそこは客観的に、この時間帯でこの話でこの曲でいいのかな？というのも考えなくちゃいけない。

実は今週月曜日(の放送)は半生でやったんです。半生というのは、当人が忙しくて生放送ができなかったので事前に録音して私がスタジオから流したんです。生放送の体で。その時に気づいたのが、生放送なのに交通情報も言えない訳ですよ、録音してるので。天気予報も言えない。これってもしかしたら録音放送でもっと深い時間にやるパーソナリティなのかなと。この方が悪いじゃなくて、生放送のタヤけなとり！としてはちょっとコンセプトが外れちゃってるのかなというのがあったりとかして、そこも先ほど委員1さんがおっしゃった様に2番手3番手、変な話タヤけの次はこんばんはあり、もっとその時間帯は何ほでも空いているので、それも含めて考えていくべきだし、私は逆に引いて客観的に考えてます。

あと、43分間で(リスナーと)キャッチボールをする余裕は多分無いです。

理事長:ないですよ。

局長:43分で出来る事と出来ない事があるかなという所と、FAX・電話繋ぎとかも受容しなくちゃい

けないかなと。というのは SNS ができない人はラジオ参加できないっていうのをなくすために。SNS ありきで内輪ネタで盛り上がるのもいいんですけど、それ以外の人もちゃんと巻き込んでいくのも必要かなと考えてました。

委員3:エマさんに関しては色々引き出しを持っているので、それは小説家と同じで何を引き出すかというか、それはある程度ディレクターとかプロデューサーが引き出してあげないと難しいと思いますよね。小説家の先生も全部自分で書く訳じゃなくて編集者がしっかりやってくれるので書けるので。だからその、時間帯と局の方向と違うなっていう時は彼にはそれなりに言うとなんかの引き出しから持ってくると思うので。

局長:逆に言うと勿体ないかなと。もう少し深い時間でワイワイできる時間にもっとストレートなコメントを(発信した方が活きる)。

委員3:それはそれで。別な時間帯でやれっていう形だね。そうですね、夜のね。

局長:逆に、もっと違う方も生放送をやって頂けると、今回10月1日スタートですごく急いでスタートしたので「なんとか今日までできました」みたいな感じではあるんですけど。

委員1:ちょうど息切れが始まりそうだね、時期的にはね。

委員3:そうかそうか、始まって(折り返しの時期だから)ね。毎週だからね。大変だね。

委員1:(担当曜日)が終わったと思うと、もう次がくる

議長:そうですね、1週間は早いね。

局長:こたわっちゃうと1週間の、自分の出来事とか参加した見てきた見聞録を全部1日の43分に反映させようとするとなんか足りない。で、いつも各個人言ってますよね、足りない、時間足りないって。逆に言うと、終わった情報じゃなくてこれからの、それこそさっき言った名取のこれからの情報が欲しいっていうのに全然応えられてない。そこは客観的に聞いてました、4曜日とも。終わった話もいいんですけど、じゃあそれから?という。

委員1:そうそう、凄いなそこが気になったのね。

局長:恐らく委員の方々もそんな感じなのかなと。自分の話はいいんですけど、それを聴いた方…

委員1:ますますこの方達が正確な情報を得るのに、やはり事務所の人とかディレクターさんがきっちり情報取って来ないと。

委員3:それはQシートの中にもう入れ込んでしまって。情報提供の中でね。

委員1:今多分任せてるんだよね?

局長:ほぼほぼ(パーソナリティに)任せてますけど打ち合わせは(適度に)。あと事前に(情報を)くれる方もいらっやいますし、後はやりながら。

「By the 名取市民」はちゃんとやってるんですけど、じゃあ For と To が、名取の人の為になってるのかなというのと名取の人の為に発信してるかなという、そこはちょっと「…」が付く。勿論これはこれから我々も含めて反省しながらと。本当に次のパーソナリティも探してこなくちゃいけないかなという部分がある。

委員1:私なんかは面白いんじゃないかなと思うのは、これ(夕やけなとり!)はこれとしてあって、市民参加型の市役所の保健だったり介護長寿課だったり道路部の話だったり水道部の話だったり、

理事長:それはなんと WIDE(※注:お昼の生放送帯番組)の中でやっているから。

委員1:その、砕けた版。

理事長:どっちにしてもこっちの受け皿がないから成り立ってなくて、全てが。そこが問題点なんですよ。

委員4: そうだね。ボランティアだし、来て貰えただけでありがたい訳だし、この時間帯に毎週毎週喋るって…話(のネタ)、切れるよね。

だから一つ、お題というか。例えば正月だったら(それに関する)お題が一つ、テーマであると結構話しやすい。例えば「餅つき」というテーマがあったら、「昔家では杵と臼でついていたけど次に家電で楽になって、今ではサトウの切り餅でいつでも買えるんだから(素晴らしい)」という風に。「物忘れ」とか「郷土料理」とか「魚釣り」とか、ちょっとしたテーマが季節ごととか又は自分が見てきた行事だったり、テーマが1つあると結構喋れると思うし、それに対して聴いてた人がFAXで反応したり。

委員1: 審議会のまとめとしては、市民参加型のこれ(夕やけなとり!)は活かしてほしいという思い。

また、情報も発信するのでその所はキチッと収集をして極力正確な情報を事前に(集めて)流す様に各パーソナリティさんにはそれぞれ調べて貰うしこっちからも局として流してほしいというのが一つ。

あと、私の意見なんですけど、我々の日常の生活の情報みたいな、市民として、市民が作る情報番組みたいな、さっき言った梅干作りとかこれからだと干し大根とか、どういう風に作るんだろうという様な所とか、そういう事をプロデュースできる様な(体制)。一人じゃ大変なので集団というか、そういう部分を局内にボランティアで設けて、来週何喋る?とか何するかとか、そういう頭脳集団があったら(良いと思う)。

議長: 情報提供者があちこちに散らばってるだけでも心強いですね。本当に提供してくれる人達ですね。関心が無いんじゃ、名前だけ貰ったってどうしようもないので。

委員3: 他の団体の協力を取り付けるしかないんだろうね。

理事長: (なとらじだけでは)難しい。

委員3: まずはそこでどういう風な情報を、生活情報、ボランティア情報とか含めて(集められるか)。

委員3: ただ行政情報(※名取市インフォメーション)がほんとに堅いんです、聴いてて…。役所だから仕方ないというのは通用しないと思う、聴いてる方には。もう少しリラックスして(聞ける)というか。パーソナリティの読む文章も。

理事長: それを言ってしまうと、なとらじで文章作ってくださいと言われるとこちらも(厳しい)。

委員3: それ、市役所に頼んでみたら?

理事長: お金が…

委員3: もう少し分かりやすく書いて、と。広報なとりもそうでしょう? 全部なのかな? それをここで言ってもしょうがないですけど。失礼しました。

理事長: まあお菓子を食べながらどうぞ、小腹も空いてると思いますので。

◇第3号議題「その他」

議長: 今皆さんから頂いたのも含めて、その他なにかありましたらお願いしたいと思いますけど。

・やはり情報。せっかく誰かが出してくれても受ける方が無かったら…決まらないから。その辺をどうやって番組に活かしていけるかという所が一番大切なのかなと思う。毎日のやつですから。特に生活、医療関係とかいうものは。

・他の番組とかも聞かせてもらっているのですが、うちの女房が大ファンで朝から大体2時間半くらい聞いている。あと夕方。(理事長が)先ほど言ってましたけどこれ(夕やけなとり!)の時間もやはり聞いている。ひよっとすると私より情報を持っているんですけど。そういった感じで(名取の)皆さんに聴いて貰えたらいいなど。情報(番組PR)をもう少し出せばいいのかなと。そして先ほど話題になった、お年寄を抱えてると出くわす色んな出来事、そういったものにもやはり対応できることも必要だなという感じ。

委員1:結構包括支援センターの方なんかもお願いですと(応えてくれるかもしれない)

委員4:あと認知症サポーター養成講座っていう所から来て、オレンジリングが…

委員1:オレンジリングね。そういう方々にうまく協力を仰いだら結構色んな話題(が聞ける)。あと看護師の方とか院長先生などの話は本当に(為になる)。

委員4:それにも関連して、先生から話を引き出す人=回す人が必要ですね。「先生、〇〇についてのお話ですが、こういう場合どうしたら良いのでしょうか?」と先生に聞くから先生が答えられる。そこだよ。

委員1:そこなんですよ。

委員4:そこですよ。先生だけ来て講義形式になるから。原稿読んじゃうから面白くなくなるんですよ。広報などの一画の医療相談とか健康相談になってしまうので。また、疲れてる時に赫赫云々と難しい話を脳みそに入れられてもね。

一番聞きやすいと思うのは、一般の方から面白い情報がきて、これどうなんだ?って悩み事を相談するんだけどざっくりぱらんな形で「私はこういう風に思うんだよね。〇〇さんどうですかね?」「このくらい(の返し)でいいんじゃないですかね」といった、ちょっとちゃらんぽらんだけどもふわっとしているのが聴きやすいんですよ。やはり回す人がいないと、聞きたい事も聞けないんだねえ。(相手がいると)ちょっとした間があるから面白いんですよ

委員1:企業の縛りなどあるのですか?例えば年金の話、2000万円問題などありましたよね?ちょっと前に。そうした時に七十七の増田支店の担当者に来て貰ってその話をして貰うとか、そうした時に他の銀行さんとか信金さんとかに一応公平に来て貰わないと塩梅が悪いとかいう事は?

局長:そうですね。シリーズでやる場合は公平の方が良いかも知れないですけど中々それも難しい。その辺の高レベルの番組はあまりやった事がないですね。

委員1:ぜひこのライン、市民参加型は続けたいよね。ただ続ける為のサポートですよ。などセンとかを引っ張り込んで、〇〇の話を何月何日の月曜日とか火曜日はしませんか?みたいな形で。そうするとちょっと疲れの見える人、じゃあ来週はエマさんに代わってこういう話をしますよ、と(代替になる)。

理事長:エマさんが都合悪い時は親方を呼ぶという約束だったんだけど?

局長:そうですね。だけど親方が今具合悪い。(今回収録になってしまったのは)たぶんもう急で、本当は予定内で出来そうだったんですけどレコーディングが長引いた様で。たまたまそういう時だった。

委員3:たまたまそういう時は(仕方ない)。だからそういう時はピンチヒッターみたいな、さっき委員1さんが言ったような予備軍じゃないけど居てもいいよね。

局長:必要ですね。サブ、3人目もいた方がいいですね。

理事長:じゃあそこはディレクターと局長にお任せして、番組を考えて頂きたいと思います。

局長:あと、もう少し深い時間もこれから開放すべきなのかなという考えもあるので。

理事長:深い時間というのは夜という事ですよね?

局長:夜です。18時以降ですね。

理事長:そうするとそれは経営的な問題があるので…

委員2:夜まで仕事をしなきゃいけない。

理事長:まず人がいないんですから。そういうのも考えた上での、この市民参加型なので。理想を突き詰めていったら幾らだってやりたい番組はあるんですよ。お金の問題と人の問題とです。

委員2:この4名の方は理事長さんが色々駆使して集められた方。その前に募集か何かされたの?

理事長:それをする予定だったんですけど、できていなかったの。でも10月にもう番組をやるというつもりだったので、私の個人的なツテを使って4人をなんとか(集めた)。

委員2:夕やけなとり!は一応3月31日までですよ。例えばその後これを続けるにあたり、先ほどの2番手3番手じゃないですけど、その方を集めるにはどのような(アプローチを)?

理事長:例えば2月位からとか1月位からとか、事前に「市民パーソナリティ募集してます」というのを段取りよくやれば。ただ、募集をかけて集まるかという問題もある。

委員2:先ほど市外の方が手を挙げたという話は、それはやはり声をかけたら市外の方だったんですか?

理事長:声を掛けたらやりたいという方がいたけれど市外。人づてで繋がっていくと集められるが、そこは難しく。

40代50代の方は仕事があるので逆に言うと60代以上の方だとリタイヤしてとか、ちょっと働いてはいるけどまだ時間にゆとりがある方とか、そういう方の方が集めやすいと思う。週に1回とかだったらこの時間帯は割いて貰えるかなという意味では。この前ちょっとある人が言っていたのは、今は若者はスマホだったり色々な機械があってそっちの方で情報を収集できるから、逆に言うとラジオが一番身近なのはシニアの世代じゃないかとか、自分が青春時代に深夜ラジオを聴いていた人がちょっと歳をいってまたラジオに戻ってるみたいな。そうするともしかしたら若い人達じゃなくてシニア世代の人達にターゲットを置いた方が広まりがいいんじゃないかっていう話をされてる方がいたりして、確かにそうも思うので、例えばシニアの人を考えるのであれば午前中の10時からの生放送とか、11時のお昼前の生放送とか。人と時間とを考えて番組を作っていけば色々な時間帯に色々な世代の方に参加して貰ってできるのかなと思う。

委員1:シニアの生態からすると、9時過ぎ10時というのは多分散歩タイムだと思う。朝のウォーキング。あと午後2時頃からもウォーキングタイム。実は私なんですけれども。町内で結構遭うんですよ。

理事長:そういう時間帯に持って来ればシニアの人で色々な…

委員1:一気に5km歩くのは大変なんで、朝晩とかっていう…

理事長:分けて歩くんだ

委員1:うん。それでスマホを見て、あと4周しなきゃいかとかいう様な人は結構いる。私もそう。

理事長:だからこれを起爆剤に、今戴いたご意見で、ディレクターの方とかも色々考えて貰って、春からに向けてはまたその新しい番組の作り方という形でまた出来るのかなとは思っているので、今日貴重なご意見たくさん戴いたので丁度2人局側の人間も同席したので、逆に言うとディレクターからちょっとこういう話題を喋ってくれてという指示だしがあってもいいのかなとは思ってますよ。

委員1:と思うよねえ

理事長:全部丸投げじゃなくて、(例えば今は)年末なので「年末に関わるキーワードで1つ喋って下さい」とかフリートークの中でとか、事前に、前の週に言っておけば多分考えてくださると思うのでそういうやり方すればちょっと季節感も出たりとか、日常の話題が出たりするので、そこはやはりディレクターとパーソナリティとの間のやり取りでやって貰って、より良いものにしてほしいのかなと。

委員4:なんかちょっとテーマがね、名取に関わるでなくとも。この季節のテーマね、お正月とかね。

理事長:来週はX'masがあるからX'masについて何か喋ってくれとか、年末だからとか、お歳暮について喋ってくれとか何でもいいし、何か1つフリートークの中にワンポイント入れて貰えますか?というのをディレクターの方で事前に言っておけば、皆さんちゃんと熱心にやってくださっているののでできるのかなとは思いますがね。

なので今日貴重な意見をたくさん戴きましたのでね、ありがとうございました。活かしていきたいと思えます。

◇第4号議題「次回開催の予定」

次回開催は来年3月頃を予定。正確な日付は後日改めて連絡することとなった。

5. 議長解任

6. 閉会

太田議長の解任が宣言され、第20回エフエムなとり番組審議委員会は閉会した。

以上

令和 年 月 日

議長

太田 力 

議事録署名人

庄司 則雄 

議事録署名人

五ノ嵐 竹美 